

岐阜新聞創刊140年記念プレイベント

感染症拡大防止対策のため、会期延期・中止する場合があります。詳細については岐阜県美術館ウェブサイトをご確認ください。

2020年11月14日(土) — 2021年1月17日(日)

開館時間 — 午前10時—午後6時〔入場は閉館30分前まで〕 11月14日(土)は午前10時30分開場

休館日 — 月曜日〔祝日の場合は翌平日〕、年末年始〔12月28日—1月4日〕 夜間開館日 — 11月20日(金)、12月18日(金)、1月15日(金)は午後8時まで開館〔入場は閉館30分前まで〕

観覧料 — 一般 800円〔700円〕、大学生 600円〔500円〕、高校生以下無料〔内は20名以上の団体料金〕

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、難病に関する医療受給者証の交付を受けている方とその付き添いの方(1名まで)は無料で観覧いただけます。

主催 — 岐阜県美術館、岐阜新聞社 岐阜放送

後援 — NHK岐阜放送局

協力 — 公益財団法人ひろしま美術館、田辺市立美術館

特別協力 — 公益財団法人日動美術財団 笠間日動美術館

岸田 劉生 展

写真から、
写実へ。



岸田劉生「自画像」1914年

岸田劉生「自画像」1914年 岐阜県美術館蔵

岸田 劉生 展

写実から、写意へ。

本展覧会では、日本近代洋画を代表する岸田劉生（きしだ・りゅうせい）の画業を油彩画、装丁画、日本画約170点により総覧し、生涯求め続けた「内なる美」に迫ります。

天才生まれる

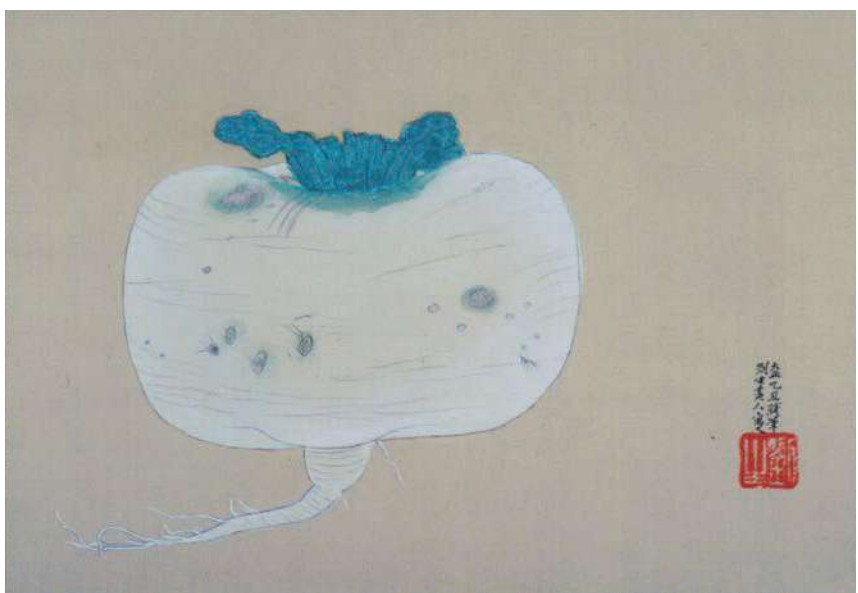
明治24年6月23日、岸田吟香と勝子の四男（14人兄弟の9番目）として劉生は生まれた。明治期を代表するシャーマニストとして知られる吟香のもとで、銀座の外国人居留地近くに住み、幼少期から西洋の文化に触れながら成長し、14歳のとき両親を相次いで亡くしたことを機に翌年キリスト教の洗礼を受ける。日曜学校の教師を務める傍らで、絵を学び始める。

第二の誕生 岸田の首切り

明治44年、二十歳となった劉生は『白樺』などの文芸美術誌に熱中し、ここで紹介されていた西洋美術から影響を受ける。やがて武者小路実篤らとの交流が始まる。劉生は若き画家仲間とフェウザン会（翌年フェウザン会と改名）を発足するが、第2回展開催の後、事実上の解散となった。この展覧会を機にのちに結婚する小林泰と出会う。この頃の劉生は仲間たちの肖像画を多く描いていたことから「岸田の肖像師」ともたえられていた。

麗子誕生

大正3年4月、待望の愛娘誕生。名は麗子という。麗子は画題として油彩画、装丁画、日本画に登場する。



- ① 滞船 1909(明治42)年頃 岐阜県美術館蔵
- ② 「天地創造」より3石を喰む人 1914(大正3)年 笠間日動美術館蔵
- ③ 第2回フェウザン会展 会場装飾画 1913(大正2)年 笠間日動美術館蔵
- ④ 麗子之像 1918(大正7)年 笠間日動美術館蔵
- ⑤ 菊慈童麗子 1920(大正9)年 笠間日動美術館蔵
- ⑥ 武者小路実篤『人間の生活』表紙 1920(大正9)年 笠間日動美術館蔵
- ⑦ 支那服を着た妹照子像 1921(大正10)年 公益財団法人ひろしま美術館蔵
- ⑧ 寒山風麗子像 1922-23(大正11-12)年 笠間日動美術館蔵
- ⑨ 無 1925(大正14)年 笠間日動美術館蔵
- ⑩ 猫図 1926(大正15)年 笠間日動美術館蔵
- ⑪ 歳寒三友之図 1927(昭和2)年 笠間日動美術館蔵
- ⑫ 薔薇図 1929(昭和4)年 岐阜県美術館蔵

関東大震災で被災する

大正4年10月、24歳の劉生は木村荘八らと草土社を結成する。その後一家で神奈川県鶴沼海岸へ転居し、風景や麗子、静物画を描く。大正12年9月、関東大震災が発生、岸田家は半壊する。名古屋の弟子宅に身を寄せたのち、京都に居を構える。

江賀海鯛先生現る

京都では、宋元画や文人画、初期印象派浮世絵の収集に熱中していた。いよいよを買いいたい、そんな自ら

西洋行きを企てる

日本画制作に集中していた劉生だったが、洋画家として西洋行きを企て、弟が住む神戸で資金集めの画会を開催する。その後南満洲鉄道の招待により中国に渡り、帰国後に逗留した山口県徳山において38歳で急逝した。

(松岡未紗)

主な催し物

- 記念講演会「岸田劉生の日本画制作について」
11月28日|土| 第1部 14:00-15:00、第2部 15:10-16:40
講師：三谷 渉氏(田辺市立美術館学芸員)
会場：第1部 講堂、第2部 岸田劉生展会場内
※事前申し込み不要、第1部は無料、第2部は要観覧券、定員40人
- 美術講座「岸田劉生の絵紙」
12月13日|日| 15:00-16:00 会場：講堂
講師：松岡未紗(岐阜県美術館学芸員)
※事前申し込み不要、無料、定員40人
- 美術講座「岸田劉生と近代美術『ETERNAL IDOL—その始まりから今へ』」
1月17日|日| 15:00-16:00 会場：講堂
講師：廣江泰孝(岐阜県美術館学芸員)
※事前申し込み不要、無料、定員40人
- 鑑賞会「内なる美」
其の1・洋画篇 11月20日|金| 19:00-19:30
其の2・東洋画趣篇 12月18日|金| 19:00-19:30
其の3・装丁画篇 1月15日|金| 19:00-19:30
会場：岸田劉生展会場内
担当：廣江泰孝、松岡未紗(岐阜県美術館学芸員)
※事前申し込み不要、要観覧券、各日定員20人

交通案内

- 公共交通機関ご利用の場合
・JR東海道本線 西岐阜駅 南口から南東へ徒歩(約15分)
・岐阜市コミュニティバス「県図書館・美術館」下車 [西ぎふ・くるくるバス](1日7便、市橋地区循環) JR西岐阜駅南口から乗車(約5分、復路30分)、[すまいるバス](1日8便、三里・本荘地区循環)
・岐阜バス 鏡島市橋線 JR岐阜駅前[6番乗場]または名鉄岐阜駅前[1番乗場]から「市橋」行きに乗車(約15分)「県美術館」下車
- タクシーご利用の場合
・JR東海道本線岐阜駅または名鉄岐阜駅から乗車(約10分)
- 自家用車ご利用の場合
・名神高速道路 岐阜羽島ICから県庁方面へ北進 約10km
・東海北陸自動車道 岐阜各務原ICから国道21号線へ西進 約10km
- 駐車場のご案内
県図書館地上・地下駐車場、美術館・図書館南・東・西駐車場、軽自動車駐車場をご利用ください。[無料]
※車いすをご使用の方などは、当館へご連絡ください。

